

国立研究開発法人国立環境研究所
契約監視委員会（第19回）議事概要

1. 日時

令和2年6月9日（火）13:30～15:30

2. 場所

ウェブ会議にて実施

3. 出席者（委員（敬称略、五十音順））

天野 玲子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）
加藤 暢一（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）
西山 温（古賀総合法律事務所 弁護士）
野村 豊弘（日本エネルギー法研究所 理事長）
古米 弘明（東京大学大学院工学系研究科 教授）

4. 開会

議事に先立ち、是澤理事から開会挨拶を行った。

5. 議題

- (1) 前回議事概要の確認について
- (2) 令和元年度調達等合理化計画に対する自己評価及び令和2年度調達等合理化計画（案）について
- (3) 令和元年度下半期の随意契約の状況について（抽出審査2件）
- (4) 令和元年度下半期の一者応札・応募等事案のフォローアップについて（抽出審査1件）
- (5) その他

6. 議事

(1) 前回議事概要の確認について

事務局より資料に基づき説明が行われた。

(2) 令和元年度調達等合理化計画に対する自己評価及び令和2年度調達等合理化計画（案）について

事務局から資料に基づき説明が行われた。

委員からの意見は以下のとおり。

- ▶ 入札不参加者のアンケートの項目⑭（評価基準に、評価者の主観が強く発揮されがちなものが目立ち、公正な評価が行われるか疑わしかった）という回答が1件でもあるのは問題である。設問の確認や業者側の理解度について確認をしたほうがよい。

（→総合評価の評価欄をもう少し具体的に記載する等、書きぶりを工夫していく。）

(3) 令和元年度下半期の随意契約の状況について

令和元年10月1日から令和2年3月31日までに契約締結した案件のうち、随意契約案件（26件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された2件については担当者へのヒアリングが行われた。

委員からの主な意見は特になし。

- 抽出審査1(令和元年度既存分級器および粒子径を用いた走査性粒子計測器構築に係る制御機器)
- 抽出審査2(令和元年度単一粒子ブラックカーボン測定装置)

(4) 令和元年度下半期の一者応札・応募等事案のフォローアップについて

令和元年10月1日から令和2年3月31日までに契約締結した案件のうち、前年度(複数年契約を行っている案件については前回契約)に引き続き一者応札・応募となった案件(11件)について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

- 抽出審査(令和元年度汎用型地域エネルギーマネジメントシステム設計に資する地域エネルギー複合イノベーション技術開発関連業務)
 - 過去の業務に関する報告書や成果物等の入手経路が仕様書等に示されていると、新規の業者が入札参加を前向きに検討してもらえないのではないか。
(→報告書等の入手方法について、仕様書等の書きぶりを検討する。)

(5) その他

・次回の委員会は半年後開催予定。その際の抽出審査案件については、野村委員長に案件を抽出いただくことに決定した。

・最後に、事務局より、本委員会資料(一部)及び議事概要について、委員の確認及び承認後に国立環境研究所ホームページに公表することを報告した。

以上